



**ABUSE  
IS NOT  
LOVE**

**AN ABUSIVE INTIMATE  
RELATIONSHIP CAN HAVE  
9 KEY WARNING SIGNS.**





# ABUSE IS NOT LOVE

『ABUSE IS NOT LOVE』(アビューズイズノットラブ) (『暴力は愛じゃない』) は、YSL BEAUTEがグローバルで取り組むCSR活動です。「恋愛関係」における親しいパートナーからの様々な暴力 (ABUSE) のサインの認知と教育を広めます。2030年までに200万人の教育を目指します。

2020年11月25日の国連の「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に、YSL BEAUTEは、新たなるグローバルプログラムである『ABUSE IS NOT LOVE』を立ち上げました。非営利パートナーによるIPV (親密なパートナーからの暴力) 防止プログラムを支援することにより、IPVから女性を守ります。

## INTIMATE PARTNER VIOLENCE (IPV)

IPVは主要な社会問題のひとつです。これは女性が受ける最も一般的な暴力の1つであり、身体的、性的、経済的、精神的、およびパートナーによる行動のコントロールが含まれています。女性の約3人に1人がIPVを経験すると言われていました。そのうち、解決の道につながる人はごくわずかです。

アメリカ、イギリス、フランスでは、3日に1人の女性がパートナーに殺され命を落としています。6億人以上の女性が、IPVが犯罪とみなされていない国に住んでいます。あらゆる人種・民族、階層、社会集団の人が、被害を受ける可能性があり、なかでも女性であることは最もリスクが高く、特に16~24歳の若年層に最も高い割合で見られています。

COVID-19パンデミックの結果、IPVの蔓延率は30~60%増加しました。多くの女性が、暴力をふるうパートナーとロックダウンされた中で生活し、専門機関や家族、友人や同僚の支援を求めることができていません。

## OUR GOAL

『ABUSE IS NOT LOVE』は、3つの主要な活動を柱に構築されています。国際的なパートナーシップを通してこれらの問題に取り組む団体に寄付をすることで、問題解決に向けて未来のソートリーダーシップの育成をサポートすること。ABUSEのサインについて少なくとも200万人を教育すること。そして、ビューティ・アドバイザー (BA) を含むYSL BEAUTEのスタッフをトレーニングすることです。

『ABUSE IS NOT LOVE』は、2020年にまず3つの団体 (フランスのEn Avant Toute、イギリスのWomen's Aid Federation、アメリカのIt's on Us) とパートナーシップを組み、グローバルプログラムとしてスタートしました。2021年には、さらに他の国でも多くのパートナーシップが予定されています。これらのパートナーシップを通じ、YSL BEAUTEは、深刻なABUSEの問題への認知を高め、大きな変化に貢献することを目指しています。各国の非営利団体とのパートナーシップを通じて、2030年までに世界で200万人を教育することを目標としております。

女性支援、特に女性たちの自立は、ブランドの存在意義のコアとなっています。親しいパートナーからの「ABUSE」は、女性の安全、幸福、自立を妨げています。そのため、YSL BEAUTEの基本的な価値観や信念と相反する問題に取り組むことは、私たちにとって非常に自然なことでした。

ステファン・ベジー YSL BEAUTE インターナショナル ジェネラル マネージャー

プログラムの一環として共同で研究を行った、アメリカを拠点とするジェンダーとダイバーシティの研究者であるベス・リビングストン博士は次のように述べています。「YSL BEAUTEの取り組みは、強力な視点であるだけでなく、世界中の主要なNGOとのパートナーシップを通じて、目に見える変化を推進することを約束していると知り、私も参加したいと考えました。この問題に関するデータは明らかであり、IPVは、職場を含む生活のあらゆる面で女性 (および男性にも) に影響を与える危険な問題であり、『ABUSE IS NOT LOVE』は、必要としている人々に重要なリソースと意識をもたらすのに役立つと信じています。」

# VOICES FROM YSL BEAUTY'S AMBASSADORS

私は女性の権利を声にすることで支持しています。現在、世界中で6億人の女性が、IPVが犯罪と見なされていない国に住んでいます。これは注目に値する問題であり、行動を起こす時が来ました。この重要なイニシアチブでYSL BEAUTYファミリーをサポートできることを誇りに思います。

YSL BEAUTY リブレアンバサダー デュア・リバ

『ABUSE IS NOT LOVE』は、女性の自由と平等を支えてきたイヴ・サンローランの精神に忠実な、切望されている新たな取り組み。いま、私はYSL BEAUTYファミリーの一員である事をこれまで以上に誇りに思っているし、この問題と戦うために一緒にこのプロジェクトに取り組むことを心待ちしています。

YSL BEAUTY アンバサダー ゴーイ・クラヴィッツ

自分の周りの人、そして身近なパートナーであっても、リスペクトをもって接することが本当の意味での愛なのではないかと思いました。この話を聞いて、身近に起きる可能性もすごく高いなと思った。だから周りの友達にもどんどん教えていきたいし、皆がこの問題を知ること、困っている人がいたら助け合うことができるから、そうすることでもっとも愛のある社会になるんじゃないかと思う。

YSL BEAUTY ジャパンアンバサダー/ジャパンサステナビリティアンバサダー ローラ

## CHANGE PROGRAM

日本では、2021年12月からNPO法人「女性ネットSaya-Saya」とパートナーシップを組むことが決定しました。特に若者を対象とした「デートDV」の啓蒙活動である「チェンジ プログラム」の支援をすることで、長期的にこの問題に取り組んでいくことが決定しています。ブランドのパートナーとなるアンバサダーやインフルエンサーの協力をあおぎながら、オンラインやSNSなどを活用し、広く若年層にこの問題についての啓蒙活動を続けていきます。さらに2021年内に、ビューティ・アドバイザー（BA）を含む約300名のトレーニングを完了させる予定です。

IPVは、日本国内では「DV」と呼ばれる社会問題の一つとして、すでに様々な公的機関や非営利団体が問題に取り組んでいます。DVが主に配偶者からの暴力を指すのに対し、デートDVは交際相手からの暴力を指すことが一般的です。DVには、相手を愛しているなら、相手が自分の思いどおりになるのが当然と考えコントロールしようとする態度や行動が根源にあります。暴力は、殴る・蹴るなどの身体的なものに限りません。怒鳴ったり、馬鹿にしたりするなどの精神的暴力、性行為を強要したり、避妊しないなどの性暴力、行動を制限して友人との付き合いを許さない社会的暴力などがあります。特に若い世代では、スマホを用いて相手の行動を監視したり、常に連絡を取り合うことを強要したりする行為がよく見られます。暴力は些細なものから始まるため、早い段階で被害に気づくことがとても重要です。

## JAPAN PARTNERSHIP

NPO法人女性ネットSaya-Sayaによる若年層に向けた、「デートDV」の予防教育活動。思春期の若者たちが、自分と相手を大切に、尊重しあえる関係の作り方を学ぶためのプログラム。デートDVの仕組みを学び、実際に起こりうるケースをロールプレイで体験、暴力の責任はどんな場合も加害者にあることを学んでいきます。交際が始まる世代の高校生や大学生を対象に、「チェンジ プログラム」を実施することで、デートDVの被害者にも加害者にもならず、互いを尊重しあう対等な関係の築き方を伝えています。学校に訪問し、年間約1万名に講座を開催しています。2021年12月より、YSL BEAUTYは「チェンジ プログラム」をサポートします。



NPO法人 女性ネットSaya-Saya  
2000年設立のNPO法人。DV被害や児童虐待など、暴力・差別のない社会を目指し活動しています。地域の中で暴力被害女性たちと子どもを支援することが、暴力と差別のない「女性と男性・人と自然」が共生する社会につながると考え、支援のネットワークを広げていくことに貢献します。

<https://sayasaya.net/>

# KNOW THE SIGNS OF ABUSE

## 9つの「ABUSE」のサイン

IPVには重要な警告すべき兆候（サイン）があることが研究によりわかっています。もし、これらのサインに早期に気づけば、私たちはIPVをより早く見つけて、助けを求めることができるでしょう。

YSL BEAUTYは、これらの9つのサインを明確に定義し、その認知を広め防止につなげていくことをブランドのミッションとして取り組んでいくことを決定しました。身体的、性的、精神的、経済的な暴力。これらはすべて「ABUSE」です。親しいパートナーからのABUSEには、警戒すべき9つのサインが現れます。これらのサインに早期に気が付き行動を起こすことで、ストップすることができるのです。

Nº1

**IGNORING**  
you on days they  
are angry



Nº2

**BLACKMAILING**  
you if you refuse  
to do something



Nº3

**HUMILIATION**  
putting you down



Nº4

**MANIPULATION**  
to coerce you into doing  
or saying something



Nº5

**JEALOUSY**  
over everything  
you do



Nº6

**CONTROL**  
over where you go  
and how you look



Nº7

**INTRUSION**  
going through your phone  
or tracking your location



Nº8

**ISOLATION**  
cutting you off from  
friends and family



Nº9

**INTIMIDATION**  
calling you crazy and  
instilling fear



1. 無視する 機嫌が悪いとあなたを無視する
2. 脅す あなたが断ると脅す
3. 侮辱する あなたをけなす
4. 操る 言動を強制する
5. 嫉妬する あなたの行動にやきもちを妬く

6. 管理する あなたの行く場所や見た目を管理する
7. 干渉する あなたのスマホを見たり、居場所を確認したりする
8. 孤立させる あなたから家族や友人を切り離す
9. 萎縮させる おかしいと言って、あなたに恐怖心を植え付ける